令和６年（２０２４年）３月１１日
建　設　委　員　会　資　料
まちづくり推進部中野駅周辺まちづくり課

中野駅新北口駅前地区における基盤整備の進捗状況について

中野駅新北口駅前地区で整備するペデストリアンデッキ、駅前広場等の基盤施設については、現在、独立行政法人都市再生機構（以下「ＵＲ都市機構」という。）、東日本旅客鉄道株式会社（以下「ＪＲ東日本」という。）及び囲町東地区市街地再開発組合への委託により、実施設計を進めており令和６年度の工事着工を目指している。

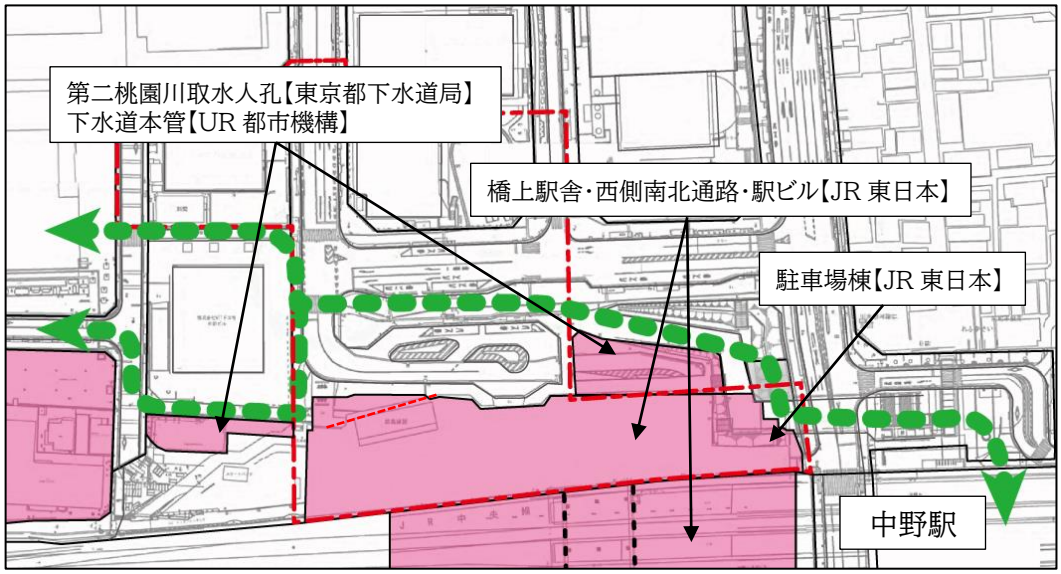
今回、これら整備に向けた進捗状況について以下のとおり報告する。

１．現在の工事状況

現在、新北口駅前地区ではＪＲ東日本との協定事業である橋上駅舎及び西側南北通路の整備と同社の駅ビル、駐車場棟の整備が進められている。

加えて、東京都下水道局による第二桃園川幹線の取水人孔整備、ＵＲ都市機構の土地区画整理事業による下水道本管の切り回し工事が進められている。

現況工事状況図



２．今後の工事展開

（１）令和６年度

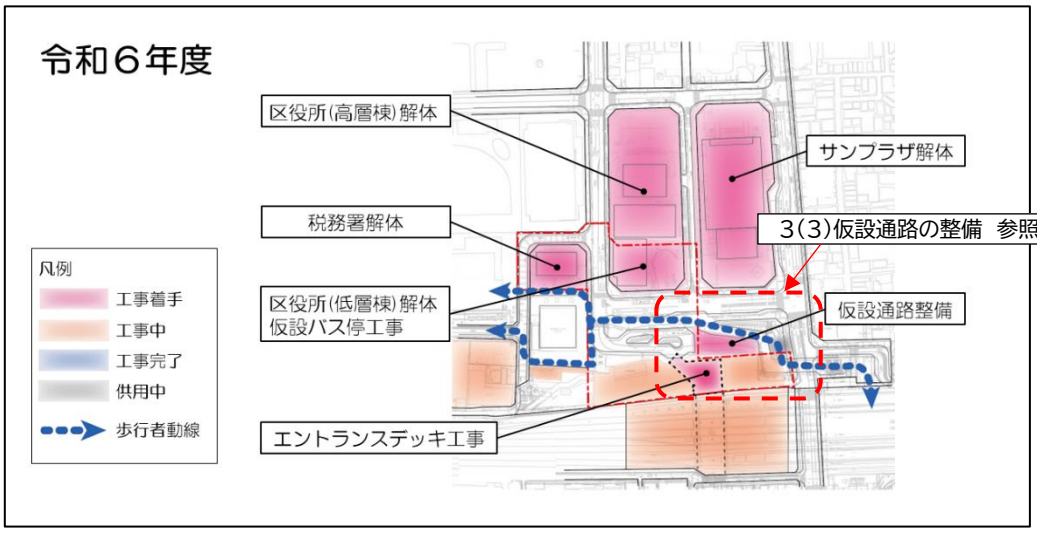
令和６年度は、税務署、区役所及び中野サンプラザの解体工事が行われるとともに、エントランスデッキや仮設バス停の工事に着手するなど新北口駅前地区における工事が本格化する。

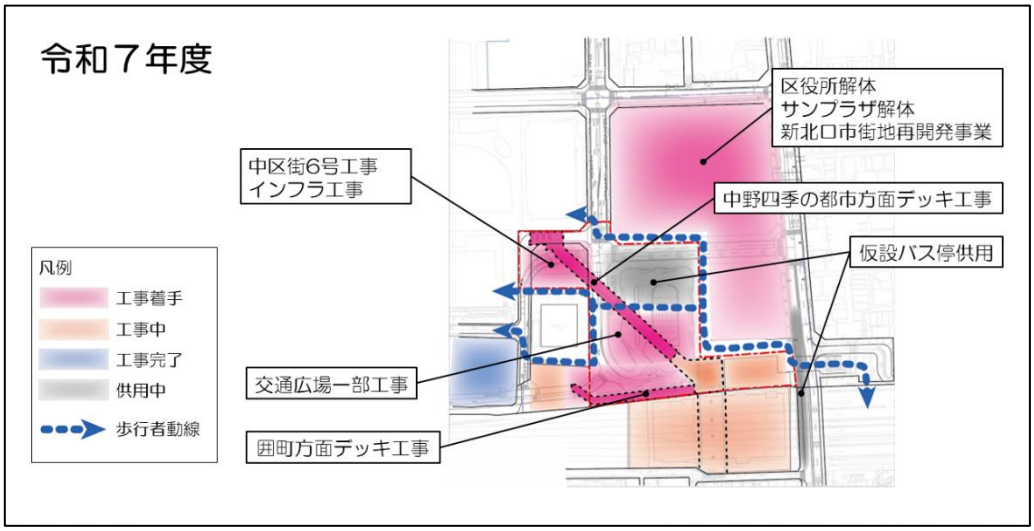
（２）令和７年度

令和７年度は、エントランスデッキに接続する四季の都市デッキや囲町方面デッキ、東西連絡路からの仮設通路の工事に着手する予定である。

今後とも効果的、効率的に工事が展開できるよう各事業者をはじめ関係機関とも調整、連携を図りながら進めていく。

施工展開図





３．施工調整状況

（１）自転車駐車場の閉鎖について

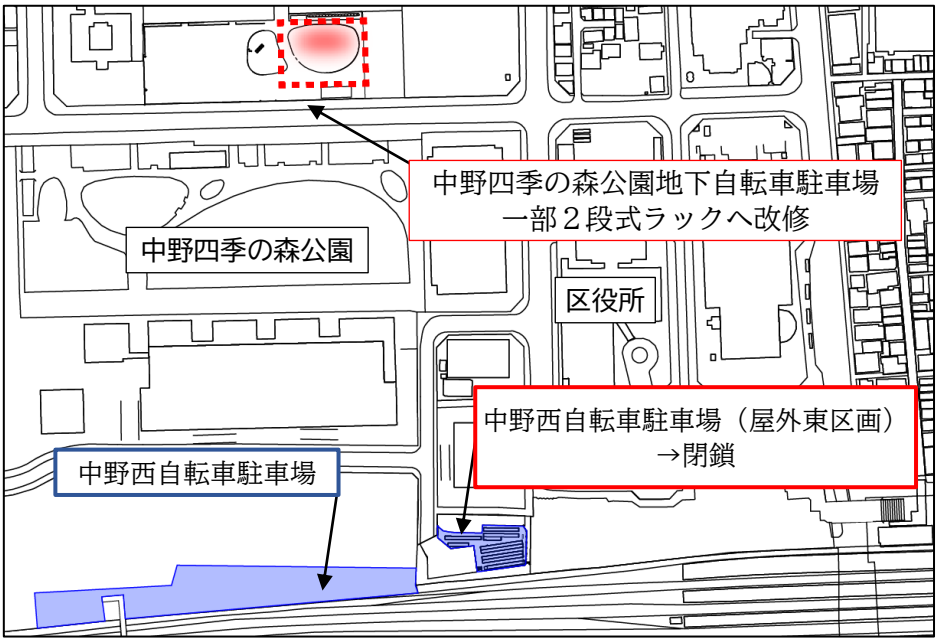
中野西自転車駐車場（屋外東区画）（中野四丁目９番）については、中野四丁目新北口駅前土地区画整理事業及び基盤施設整備の事業進捗に伴う工事ヤードとして使用する必要から、本年６月１日をもって閉鎖する。

（２）事業期間中の自転車駐車場の対応について

当該閉鎖自転車駐車場の代替として、中野四季の森公園地下自転車駐車場の１段平置きラックを一部２段式ラックへ改修工事を進めている。新北口駅前エリアの事業期間中においては、本改修による２００台の追加台数と中野西自転車駐車場の実稼働状況等により、必要台数は当面確保できると考えている。

併せて、今後も、歩道への仮設自転車駐車場の設置や、民間による自転車駐車場の整備・利用の促進を図る等、駅周辺の放置自転車の増加を防ぐため関係機関と連携、協議を図りながら対策を継続して行く。

代替自転車駐車場　配置図

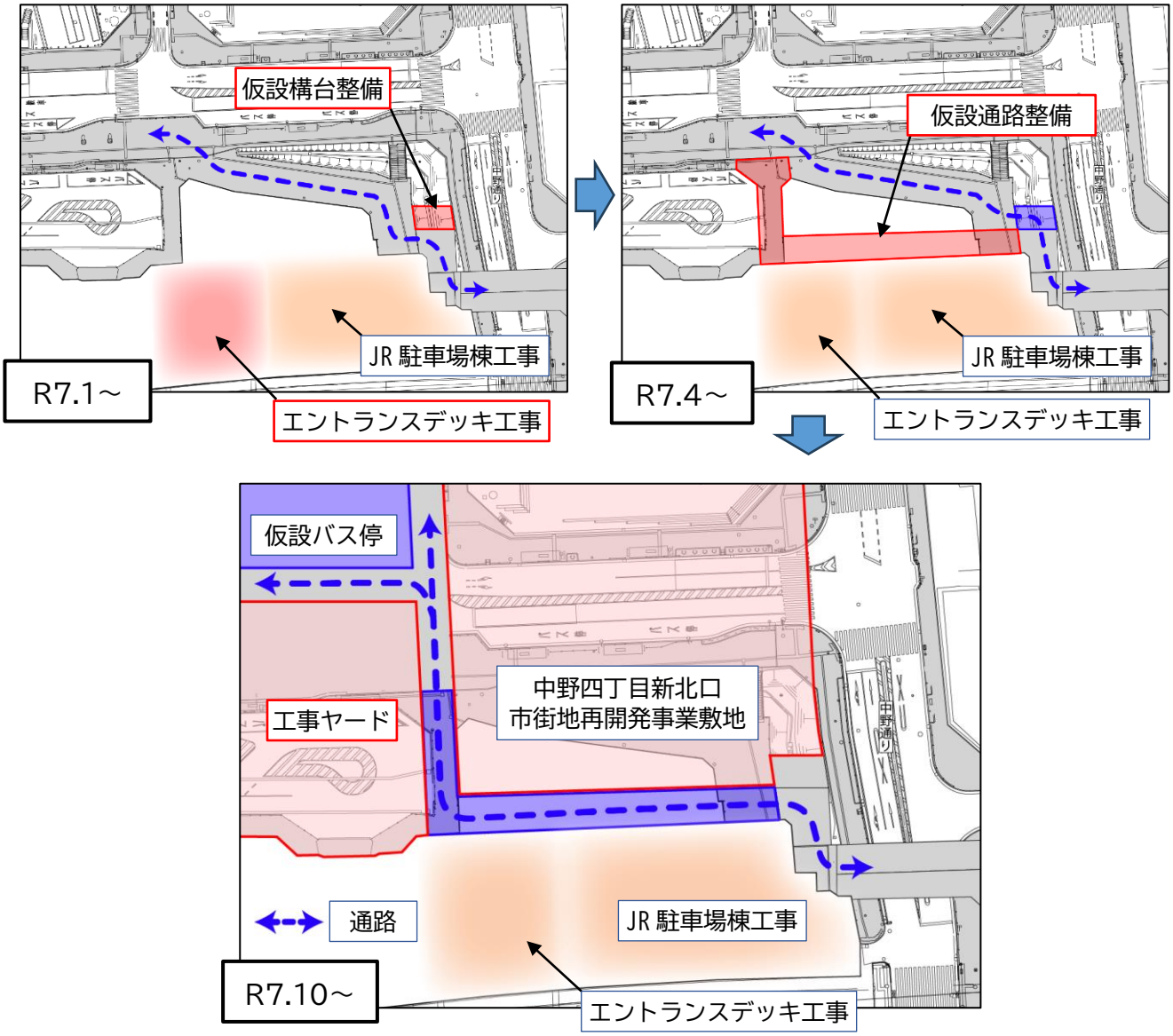


（３）仮設通路の整備

中野四丁目新北口駅前地区市街地再開発事業（以下「新北再開発事業」という。）の進捗に伴い、現在の東西連絡路からのスロープを仮設通路へ切り替える必要があることから、令和7年1月を目途に仮設構台等の整備工事に着手する予定である。同年4月に一時迂回措置、その後同年10月より仮設通路の運用を開始し、新北再開発事業の敷地及び駅前広場、ペデストリアンデッキの工事ヤードを確保する予定である。

なお、当該通路については、整備の詳細がまとまり次第報告する。

仮設通路の整備ステップ図



４．ペデストリアンデッキ等の工事の施行について

（１）整備の進め方について

現在、ＪＲ東日本への委託事業により設計を進めているペデストリアンデッキ（エントランスデッキ等）については、令和８年末頃の橋上駅舎開設にあわせ整備を完了させる予定である。

エントランスデッキ等の工事は鉄道近接での施工となることから、実施設計に続きＪＲ東日本へ工事の施行を協定に基づき委託する予定である。

（２）今後の協定締結の進め方について

工事施行協定は、切れ目なく事業を進めるため、次年度（令和６年度）内において調整が整い次第必要な対応を図る予定である。一方、全体工事費の積算には時間を要する上、デッキの部材となる鋼製桁の製作は発注から１年程度の期間を要することから、施行協定は全体の工事内容、役割分担等について協議を調えた上で、段階的に締結することとした。

今後、当初の桁製作・準備工等に係る工事の施行について協議、調整を進め、極力早期の施行協定の締結を目指す予定である。その後、デッキ本体工事に係る調整が整い次第、協定の変更を含め必要な対応を図る予定である。

なお、ＵＲ都市機構へ設計を委託している中野四季の都市デッキ、交通広場の整備についても、ＵＲ都市機構への工事の施行を協定に基づき委託する予定であり、先行する工程から令和６年度内の施行協定締結を進める考えである。

５．今後の予定

令和６年度	区役所解体、仮設バス停整備工事
	中野税務署解体、仮設通路整備
	ペデストリアンデッキ工事着手
令和７年度	中野税務署跡地インフラ移設工事、仮設バス停運用開始
	仮設通路運用開始
令和８年度	中野駅新北口改札開業
令和１１年度	中野駅新北口交通広場供用開始